



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリストの新しい祈禱運動である。

開心 ・ 静聴 ・ 充滿 ・ 献身 ・ 奉仕

〒181-0011 東京都三鷹市井口3-15-6 池の上キリスト教会内 日本クリスチャン・アシュラム連盟 振替口座 東京 00100-1-4558

アシュラム方式



単立函館栄光キリスト教会

牧師 佐々木 雄次

本誌のバックナンバーを見ていましたら、わたしどもの教会を21年にわたって牧会された白川鄭二先生が、1997年9月号に、「この教会は十年来、毎週の集会をアシュラム方式で守っている」と記していました。教会の集会にアシュラムの「祈りの細胞」や「静聴と分かち合い」の方式を取り入れることを「アシュラム方式」と言ったのだと思います。たとえば、祈禱会では、出席者一人一人がその日の御言葉から恵まれたことを発言して、分かち合い、それから、互いに執り成しの祈りをします。それは、アシュラムの「祈りの細胞」に似ています。また、主日礼拝の後にもたれる「説教についての恵みの分かち合い」は、「静聴後の分かち合い」に似ています。そして、「アシュラム方式」で守られる集会には、アシュラムで与えられるのと同質の恵みがあるのです。海老沢宣道師は、その著「アシュラムの原則と実際」の中で、「聖霊の導きと充滿が『充滿の時』で終わるのでなく、家庭生活、教会生活の中で実行され、主の御霊に服従した真実の信仰生活へと再出発することにより、御霊の実を豊かに結ぶ教会となるであろう」(二) 聖霊の導きと充滿」と言い、「キリスト中心の靈交を教会に復活したいとの祈りの運動が起こった。アシュラム

はその試みの一つである」(四) 教会への奉仕と伝道」と言っています。アシュラム運動の目標は、アシュラム集会の参加者が聖霊に満たされて終わりではなく、個々の教会において「御父と御子イエス・キリストとの交わり」が体験され、「御霊の実が豊かに結ばれ」、「キリスト中心の靈交」が実現することだと言ったのです。教会の集会にアシュラム方式を取り入れたのも、海老沢師が言われたように、教会において「御父と御子イエス・キリストとの交わり」が体験され、「わたしたちの喜びが満ちあふれるようになる」(一ヨハネ一章四節)ため、そして、「出かけて行って実を結び、その実が残る」(ヨハネ一章一六節)ためです。むろんそれは決して人工的に作られるのではなく、一ヨハネ一章三節に「わたしたちの交わりは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです」とあるように、上より与えられる恵みです。個々の教会において、喜びが満ちあふれ、暖かい愛の交わり、聖霊による一致が増し加えられるよう、心から祈る者です。



霊 想



「罪赦されることの幸い」

詩編三三篇一〜七節

日本バプテスト連盟

門司港キリスト教会

牧師 鮫島 則雄

使徒パウロはローマ書四章七〜八節で、この詩

編三三編一〜二節を取り上げています。

「いかに幸いなことでしょう

背きを赦され、罪を覆っていたいた者は。

いかに幸いなことでしょう

主に咎を数えられず、心に欺まぬ人は。」

私たちの人生で一番幸いなこと…、それは罪の

赦しです。

私自身、青春時代のすべてをキャンブルに費や

していた放蕩息子子の立場から、罪の赦しを宣言し

ていただき、その感謝と喜びの内に入信決心し、

即献身の祈りへと導かれ二十四年目の新年を迎え

ています。無我夢中で神学校での学びを続け、卒

業論文に向かい始めた時、「私のような無学なた

だ人が果たして本当に献身へと導かれているのだ

らうか」と立ち止まる時へと導かれ、人生最大の

試練の時を迎えたのです。

そんな時一人の女性牧師の集会を持たれること

になり、悩んでいる私に気づいたある方がその集

会に誘ってくださったのです。「あなたも祈って

もらいなさい」と押し出され、いただいた聖句は

とんでもない箇所でした。イザヤ書の六〇章一〜

二節のみ言葉でした。

「起きよ、光を放て。

あなたを照らす光は昇り、

主の栄光はあなたの上に輝く。

見よ、闇は地を覆い

暗黒が国々を包んでいる。

しかし、あなたの上には主が輝き出て

主の栄光があなたの上に現れる。」

なんともはや、とんでもないみ言葉をいただいた

ものだ、と思いつながら帰って眠りについたので

すが、真夜中、自分の寝言で目が覚めたのです。

「神よ、わが心は定まりました。

わが心は定まりました。

わたしは歌い、かつほめたたえます。

わが魂よ、さめよ。

立琴よ、琴よ、さめよ。

わたしはしものめを呼びまします。」

(詩編一〇八編一〜二節からの引用)

当時の私には与えられた意味が分かるはずもあ

りません。ただこの中で「さめよ」という言葉

が2回あったので、主は私の名前もご存知の上で

ユーモアを交えて励ましてくださったのかな、と心にゆとりが生まれたのを覚えています。

そして「とにかく今やるべきことをやり遂げよう」

との力が湧き、卒業論文を仕上げ、無事に卒業す

ることができて、今があります。

この詩篇一〇八編の箇所は、古代教会の偉大な

教父アウグスチヌスが特別に愛した詩であると言

われます。彼は「この詩こそわたしの新生の救い

だ」と言いつて、死の床にありながらもベッドの傍

らの壁に書き付けて、繰り返し暗唱しつつ召天し

たと伝えられています。

使徒パウロは、知らずに犯した初代教会の兄弟

姉妹たちに対する重い罪を赦され、異邦人伝道の

道へと復活の主から召されました。その罪赦され

た喜びと感謝の気持ちは彼の心の中にずっと鎮座

していたことでしょう。だからこそこの使徒より

も大きな働きを成し遂げる力になったのだと信じ

ています。

私自身放蕩息子子の立場から献身へと促されまし

た。ですから詩編一〇八編の聖句ではなく、今回、

詩編三三編八節のみ言葉をいただいて献身の決意

も新たに、この年も主と教会に仕えてまいります。

「わたしはあなたを目覚めさせ、行くべき道を教えよ

う。

あなたの上に目を注ぎ、勧めを与えよう。」

第51回関西アシラムに参加して

日本キリスト教団 香櫨園教会

信徒 立石 良子

9月17日(日)、教会で礼拝を守り、関西アシラムに参加できましたことを心から感謝します。今年のアシラムでは、神様は私にどんなことを話してくださるだろうかと期待して会場の「母の家ベテル」に向かいました。

あいにく台風がこちらに向かっているため、雨が今にも降ってくるような日でした。母の家ベテルの玄関のドアを開けて入り、ドアが閉まった時ノアの箱舟のことを思いました。ノアやノアの家族、動物たちがみな箱舟に入った時に神様がドアを閉められた箇所です。神様が家のこと、仕事のこととは忘れて、「わたしの言葉に集中しなさい」と、ドアを閉めてくださったような気持ちになりました。

今年の助言者、鎌野善三先生の説教を聞き、わかりやすく、時には(たくさん)笑いがあり、楽しい時間でした。先生は、子ども時代から朝、聖書を一章読まないで学校に行かせていただけなかったことを聞き、聖書通読の大切さを教えてくださいました。

そして、あなたが抱いている純真な信仰を思い起こしています。その信仰は、まずあなたの祖母ロイスと母エウニケに宿りましたが、それがあ

なたにも宿っていると、わたしは確信しています。(テモテへの手紙II 一章五節)

鎌野先生のお母様の信仰と強い思いを感じて、今の鎌野先生があり、明るい性格が作られたことを思いました。そして、聖書通読の大切さを再確認できましたことを心から感謝しました。また、祈りの細胞の時は小グループに分かれ、これからのそれぞれの一年間の課題を言い、隣に座っている兄弟姉妹に祈っていただきました。一日目の祈りの細胞の時は、進行係の牧師先生が用事のために帰られたので、私たちのグループは祈りの確認をし、讃美歌をたくさん歌い、一人ひとりのお話を深く聞くことができました。これも感謝です。

一日目の夜は激しい雨が降り、ベテルの家の玄関の一部で雨漏りがしましたが、二日目は台風も去り、さわやかな朝を迎えることができました。二日目のシスターたちが作ってくださったおいしい食事をいただき、兄弟姉妹と再会を約束して、感謝しながら帰路に着きました。



第22回全国理事会開催

11月9~10日、池の上キリスト教会において、第22回全国理事会が開催されました。今回、北海道、関東、関西、そして九州から九名の理事および事務局等が集まりました。開会礼拝では安藤理事が「アシラムの恵み」(山根可弐著)を用いてアシラムの必要性と重要性とを話されました。夕食の後、セミナーでは、アン・マシューズ師の証しのビデオを見、その後各地区のアシラムの活動の現状報告がなされました。

二日目は静聴を佐々木理事に導いていただき、その後、前日に引き続き各地の活動報告をしていただきました。又、連盟の組織および規約の確認が行なわれました。今後、地区組織として活動できなくなっている地区に理事が出かけ、啓蒙活動を行ないたいとの希望が語られ、さらに米国を中心に国際アシラムに關してもホームページを作成した上で進めて行きたいとの意見も出されました。



関東地区支部報告

日本キリスト教団 横浜岡村教会 牧師

支部書記 安藤 脩

関東支部では年1回のアシユラム開催のため5回の委員会を持っています。

関東アシユラム第55回は9月18日(月)〜20日(水)の3日間。会場は山崎製パン箱根山荘でした。敬老の日の祝日を入れた開催日と会場は現在では固定的になっています。これは山崎製パンがアシユラムに対して好意的に配慮してくださっているからです。毎回場所を選定しなければならぬという、委員会の苦勞がないばかりでなく、経済的にも助かっています。2泊3日でありながら登録費を含めて参加費は一万八千円です。感謝なことに繰越金を出すことができ、この余剰金を連盟アシユラムを支える献金にしています。真に感謝なことだと思えます。そして参加者の楽しみの一つは、山荘で出してくださる毎回の食事です。一流の調理師さんが作ってくださる食事は観光ホテルの食事に劣らぬ美味しさです。

このような関東アシユラムを開催するために11月、1月、4月、7月、9月と委員会を開きます。現在、委員は10名で委員会への出席は7名程度です。委員会は委員が担当して讚美と静聴のデイポーションの時をもって開会します。この委員会報告の中には下部組織として位置づけている地区

アシユラム・城北アシユラム(池の上教会、更生教会、新宿西教会、天門教会の4教会で主催)、

東京新生教会アシユラム、浦和別所教会アシユラム、西川口教会アシユラム、岡村アシユラム、東調布教会アシユラム等の報告もされています。委員会が何らかの制約をしたり、干渉するものではありません。そして毎回、会計報告と連盟アシユラムに関する報告もされています。今一番話題になっているのは、今後の発展のためにどうしたら良いかということ。このころの友伝道もスタンレー・ジョーンズ師が伝えたものですから、この組織との相互協力が大事ということを確認しました。又、ホームページを立ち上げ、広報活動を充実して底辺を広げることの必要が話し合われています。



日本長老教会
蓮沼キリスト教会
牧師 村瀬俊夫

アシユラム予告

●第49回城北アシユラム

とき 18年2月12日(月・祭)

会場 新宿西教会

助言者 有馬 歳弘牧師

●第53回九州アシユラム

とき 18年9月16日(日)〜17日(月)

会場 福岡黙想の家

助言者 榎本 恵牧師

●第52回関西アシユラム

とき 18年9月23日(日)〜24日(月・祭)

会場 母の家ホテル

助言者 未定

●第56回関東アシユラム

とき 18年9月17日(月)〜19日(水)

会場 山崎製パン箱根山荘

助言者 西海 満希子師

【編集後記】 連盟理事長・横山義孝師について

横山師は昨年秋、イスから転倒し、頭部を打ち、入院、手術をいたしました。年末までにはかなり回復され、今はリハビリ中です。お祈りください。

なお、このアシユラム誌は先生によって編集されておりましたが、今回から副理事長・岡山敦彦師を中心に(他に川村秀夫理事、石井寛事務局長)3名で、新たに編集印刷してまいります。ご期待ください。